

第3号議案 第22期（2020年度）事業計画（案）

災害支援関連では、東日本大震災をはじめ、西日本豪雨災害や台風19号豪雨災害などでの活動を継続していきたいと考えている。東日本大震災関連では、2021年3月11日に震災から10年を迎えるにあたり、岩手県野田村や福島県郡山市での活動の集大成としての取り組みを考えている。また、地元西宮の県外避難者の支援については、KSN（関西学院大学、西宮市社会福祉協議会、NVNADが主体）主催での交流イベントなどの支援活動の継続を予定。西日本豪雨災害では岡山県倉敷市真備町での仮設支援の継続や、台風19号豪雨災害では長野県長野市での写真洗浄活動を中心に、大阪大学や関西学院大学などの写真洗浄ボランティアチームとも連携して取り組んでいきたい。南海トラフ巨大地震など新たに大規模な災害が発生した場合は、近畿ろうきん社会貢献預金「笑顔プラス」制度を活用して活動可能な範囲で迅速な対応をしていく。そして、新型コロナウイルス感染症を災害ととらえ、出来る範囲での支援活動を、大阪大学など他団体とも連携しながら模索していきたい。

平常時の活動については、これまでの①防災まちづくり活動、②講座・講演活動、③ネットワーク活動の3本柱の活動を中心に展開していく。特に、今年度はNVNAD役員&事務局で自治会などを対象に新たな防災啓発のための「まちごと防災」プロジェクトを立ち上げたので、新型コロナウイルス感染が落ち着いた段階で、まずは地元の西宮を中心に、広報を含め積極的にPRしていきたい。加えて「募金箱大作戦」という新プロジェクトも企画して、西宮市内のお店を中心に、団体のPRも兼ねて募金箱を設置してもらえるように交渉を考えている。また、今年度は「健康と防災(災害)」をテーマに実施している「ウォーキング」をコロナ対策として内容を工夫して実施を検討中。その他、昨年11月に大阪大学の未来共創センター内に「災害ボランティアラボ」が設置され、アドバイザーとして関わることになった経緯から、災害や防災をテーマに様々な企画にも参画していければと考えている。

I. 災害救援の活動

1. 救援活動

(1) 東日本大震災の支援活動

- ①被災地の支援活動（岩手県野田村、福島県郡山市、など）
- ②西宮市内での避難者支援活動（KSNプロジェクト）
- ③野田村ファンクラブ

(2) 兵庫県佐用町・丹波市水害の支援活動

(3) 熊本地震・九州北部豪雨災害の支援活動

(4) 西日本豪雨災害の支援活動

(5) 台風19号豪雨災害の支援活動

(6) 新型コロナウイルスの支援活動

II. 次の災害に備えるための防災(広報・啓発等)の活動

1. 地域防災活動

- (1) 子ども防災クラブ（次世代のリーダー育成）
- (2) 親子防災事業（地域での防災啓発）

2. 防災意識高揚のための取り組み

- (1) まちごと防災プログラム事業
- (2) 災害や防災に関する講座・研修等の受託事業
- (3) 講演等の受託事業

3. ネットワークの拡充

- (1) 全国災害救援ネットワーク（J ネット）総会
- (2) ひょうご市民活動協議会（愛称：ひょうごん）
- (3) 災害救援ボランティア活動支援関係団体連絡会議（兵庫県）
- (4) チャリティカレンダー市

4. 新規事業の企画・・・収益（事業、会費、寄付など）を高めるために

- (1) 防災 IT 事業(阪大もん)の実施（NPO 法人北いわて未来ラボ&阪大）
- (2) 災害ボランティアラボとの連携（阪大人科）
- (3) 募金箱大作戦（店頭に募金箱を設置、団体の広報も兼ねる） など

Ⅲ. その他

事務所の移転（使用期間：2021年2月28日まで）

Ⅳ. 今年度末の災害救援準備金残高 500千円

（災害救援準備金の取り扱い細則）

国内外で災害が発生し、緊急出動のための費用は、理事の承認を受け引当貯金を取崩し、次回総会で報告の上、承認を受けることとする。